



## 太陽と月のカレンダー

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
<b>日付</b> ▼情報 暦(こよみ) 天文現象 日の出 日の入 イベント 二十四節気		<b>1</b> 八十八夜	<b>2</b>	<b>3</b> 憲法記念日	<b>4</b> みどりの日	<b>5</b> こどもの日
<b>6</b> 振替休日 ★みずがめ座η(エータ)流星群が極大 立夏	<b>7</b> 土星の環の消失(見えない)	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>10</b> 太陽観望会	<b>11</b> 星空さんぽ	<b>12</b>
<b>13</b> 満月	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>16</b>	<b>17</b> トワイライト	<b>18</b>	<b>19</b>
<b>20</b> 下弦	<b>21</b> 小満	<b>22</b>	<b>23</b> 夜明け前の東の空で月と土星が接近	<b>24</b> 夜明け前の東の空で月と金星が接近	<b>25</b> 全編生解説	<b>26</b>
<b>27</b> 新月	<b>28</b>	<b>29</b>	<b>30</b>	<b>31</b> ★みずがめ座η(エータ)流星群が極大 空の暗いところで1時間に5~10個程度。月の条件は良い。		

## 二十四節気



月の満ち欠けをカレンダーに使っていた旧暦(太陰暦)の頃から使われてきた季節の節目を表したもの。太陽の動きから1年を24等分している。

立夏(りっか)…夏の気配が感じられる。  
小満(しょうまん)…すべてのものがしだいにのびて天地に満ち始める。

### プラネタリウムイベント情報!

※詳しくはホームページ等でご確認ください。

### 太陽観望会

**3日 祝 13:00~16:00**

望遠鏡に特殊なフィルターを付けて太陽を観望します。(天候不良の場合中止)

### 春の星空さんぽ

**11日 15:50~16:40**

見ごろの星や星座、天文現象などをたっぷりとお話しします。

### トワイライトプラネタリウム

**17日 土 18:00~19:00**

「Feel the Earth~Music by 葉加瀬太郎~」前半は今夜の星空解説

### 全編生解説プラネタリウム

**25日 15:50~16:40**

テーマ「夜空をさまよう星~惑星の見え方・動き方」(前半は今夜の星空解説)



## めおと星はどの星?



春の星座の目印である「春の大三角」のうち、おとめ座の一等星「スピカ」とうしかい座の一等星「アークトゥルス」は「春の夫婦(めおと)星」と呼ばれることがあります。ただし、こう呼ばれるようになったのは、かなり最近です。



夫婦の星といえば、夏の星の「織姫星」、「彦星」が有名です。織姫星はこと座の「ベガ」、彦星はわし座の「アルタイル」のことです。七夕の行事は奈良、平安時代の頃(ころ)から行われてきており、大変古い歴史があります。

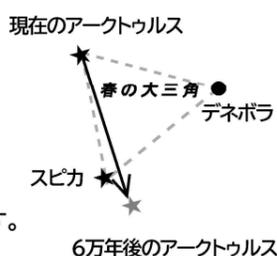
また、ふたご座の「ポルクス」と「カストル」のことを「ミョウトボシ」や「ミョートボシ」(夫婦星)と呼ぶ地域があります。(静岡県や京都府の一部地域)そこから転じて、ちょうどひな祭りの頃に空高くのぼるため、最近では、「ひな祭り星」と呼ばれることがあります。お内裏(だいら)様とお雛(ひな)様に見立てているようです。



スピカとアークトゥルスは同じ頃に空にのぼってきます。白く輝(かがや)くスピカと、オレンジ色に輝くアークトゥルスは色の対比がとても美しい星々です。(それぞれ真珠(しんじゆ)星、麦星などとも呼ばれます。)織姫星、彦星に対抗するため、色の対比、などの理由から「春の夫婦星」と呼ばれるようになったのではないかと考えられています。

### PLUS1

夫婦というには見かけ上、かなり離れていますが、アークトゥルスは星空を移動する速度(固有運動)が大きい星です。800年の間に見かけの月の大きさ1個分くらい動きます。5~6万年後には夫婦のように寄り添って輝くと言われています。



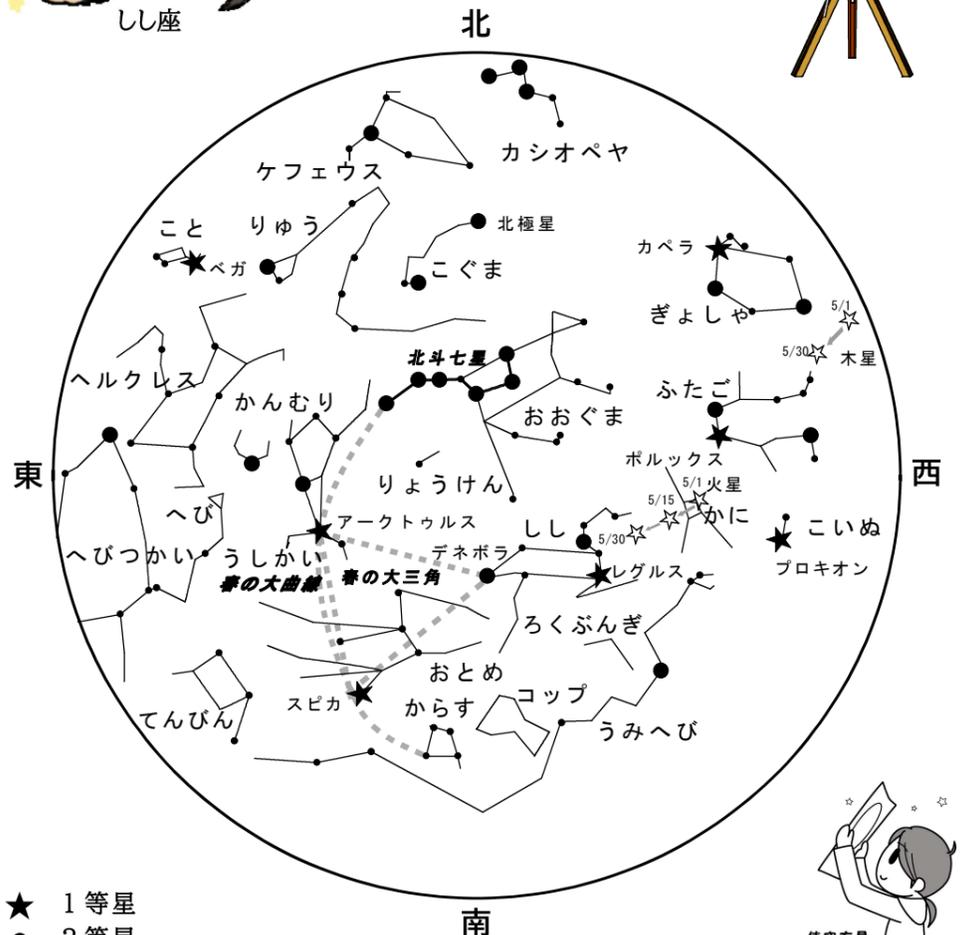
## ★かんたん星座早見★

### 5月

(月は描いてありません)



しし座



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- ☆ 惑星

5月1日午後9時00分頃    5月15日午後8時00分頃    5月30日午後7時00分頃



星座早見は  
方向を合わせて  
使うようにして